公益社団法人 日本地下水学会

2026 年度 第 5 回 理事会議事録

１．開催日時：2026年10月17日(土) 13:30-17:00

２．開催場所：明石町区民館、Web 会議

３．理事総数：15人

４．出席理事数：14人

○：出席、×：欠席

理事	遠藤　崇浩	○※	理事	久保田　富次郎	○※
理事	阪田　義隆	○※	理事	杉田　文	○
理事	瀬尾　昭治	○	理事	高木　一成	○
理事	竹内　真司	○	理事	辻村　真貴	×
理事	中川　啓	○※	理事	西田　憲司	○
理事	増岡　健太郎	○	理事	宮越　昭暢	○
理事	山中　勝	○※	理事	吉岡　真弓	○※
理事	吉田　広人	○※			

※：Web 参加者

（吉田理事は 14:30 頃から参加、宮越理事は 15:00 で退席）

５．出席監事数：2人

○：出席、×：欠席

監事	高坂　信章	○	監事	五藤　幸晴	○

６．議長の氏名：会長　杉田 文

代表理事の杉田文は、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、13 時 30 分本理事会の開会を宣した。

７．代表理事の活動状況

・ 特段の活動報告なし。日本学術会議に関して、今後、会員・連携会員などの選考において学協会の関与が大きくなる可能性があるとの情報が共有された。

８．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名：該当する理事はいない。

９．議事録作成者：理事　増岡 健太郎

１０．理事会資料

・ 資料 1　　：2026年度第5回理事会議事次第
・ 資料 2　　：2026年度第4回理事会議事録（確定版）
・ 資料 3　　：2026年度 上期監査報告書
・ 資料 a（11種）　：審議資料
・ 資料 b（5種）　：協議資料
・ 資料 c（12種）　：報告資料

１１．2026年度上期監査報告

10 月 14 日に実施した 2026 年度上期監査について、高坂監事より、事業内容および会計執行状況を確認し、特段の問題はなかったことが報告された。

【審議事項】

第 1 号議案：入会の承認（総務委員会：資料 a 審議_13(総)-1）

・当初申請の正会員 5 名に加え、当日申請の 1 名を含む正会員計 6 名の入会が承認された。

第 2 号議案：個人情報保護委員会への連名報告について（広報・IT 委員会：資料 a 審議_09(広)）

・ニフティ株式会社による個人情報保護委員会への連名報告について、本会の報告書上の位置づけ、同意に伴う責任・義務、追加対応の要否等を事前に確認し、特段の問題がないことを確認した上で同意する方針が承認された。

・ニフティ株式会社への確認および連名報告への回答に関する判断は会長、副会長、総務委員長、広報・IT 委員長に一任することが承認された。

第 3 号議案：2025 年度若手地下水研究助成奨励賞（YEPS 委員会：資料 a 審議_10(YE)-1a,1b）

・選考委員会による 2025 年度若手地下水研究助成奨励賞の受賞候補者が紹介され、同候補者を 2025 年度若手地下水研究助成奨励賞の受賞者とすることが承認された。

第 4 号議案：2026 年度表彰推薦および表彰取消（表彰委員会：資料 a 審議_12(表)-1）

・企業冠賞（ドリコ賞）について、表彰委員会で選定された受賞候補者 2 名を同賞の受賞者とすることが承認された。

・永年会員功労賞の受賞決定者 1 名に対して、2025 年度での退会に伴い、同賞の受賞決定を取消すことが承認された。

・企業冠賞に関して、選定から受賞までのプロセスについて今後再確認することとした。

・ドリコ賞の博士課程への対象拡大について、2027 年度からの運用を念頭に規程改定案を検討することとした（表彰・総務委員会）。

第 5 号議案：会費未納会員の会員資格喪失処分（会計委員会：資料 a 審議_11(会)-1）

・3 年間会費未納の会員 4 名の会員資格喪失処分が承認された。

・会費未納者への通知や資格喪失までの期間短縮について、総務委員会・会計委員会で今後検討することとした。

第 6 号議案：学会誌合併号への対応に伴う施行細則改定（総務委員会：資料 a 審議_13(総)-2a,2b）

・学会誌の合併号発行に対応するため、施行細則の文言の一部改定が承認された。

第 7 号議案：選挙管理委員会について（総務委員会：資料 a 審議_13(総)-3）

・代議員選挙に係る選挙管理委員会委員長および委員 2 名が承認された。

第 8 号議案：J-STAGE Data への対応に伴う地下水学会誌投稿規程改定

（総務委員会：資料 a 審議_13(総)-4a,4b）

・投稿規程改定案について、編集委員会での再検討を要するため継続審議とした。

・各理事は 11 月 20 日までに意見を編集委員長に提出し、12 月上旬の編集委員会で改定案を整理した上で、12 月理事会以降半年から 1 年間の継続審議することとした。

・J-STAGE Data の運用開始時期については、準備状況を踏まえて別途検討することとした。

【協議事項】

① 2027 年度若手地下水研究助成の公募（YEPS 委員会：資料 b 協議_10(YE)-1a,1b）

・2027 年度 若手地下水研究助成の募集に関する会告案が示され、前年度と同様に総額 50 万円を上限として同程度のスケジュールで進める方針が了承された。募集要領の詳細は次回理事会で説明予定。

② 2026 年度上期監査結果・2027 年度予算案（会計委員会：資料 b 協議_11(会)-1）

・2027 年度予算案に関して、各委員会に 2027 年度予算案を 12 月 4 日までに会計委員長に提出する旨を依頼した。今後の予定として、12 月の理事会で予算案を協議し、2027 年 2 月の理事会で審議する。

③ 代議員候補者案（総務委員会：資料 b 協議_13(総)-1）

・任期満了となる代議員 6 名の後任候補について、産官学・地域・特別会員のバランスや学会活動実績を踏まえ協議した。候補者への打診と意見収集を進め、立候補状況を踏まえて 12 月の理事会で候補者を確定する方針とした。

④ 日本水大賞等その後の対応（総務委員会：資料 b 協議_13(総)-2）

・瀬尾副会長より、日本水大賞等の地下水関連受賞団体との連携について、日本河川協会から学会誌での紹介やオンライン講演会等に支障がない旨の回答を得たことが報告された。

・学会誌への日本水大賞の紹介記事の準備を進めるとともに、受賞者によるオンライン講演会等については企画委員会での検討が依頼された。

【報告事項】

無任所：（資料なし）

・9 月 13 日の IAH Council Meeting における投票により、2029 年 IAH 国際会議の日本開催が決定したこと、PCO との契約内容・見積りや準備工程について調整を進めていることが報告された。

・具体的な準備項目に関する地下水学会との連携の仕方について協議予定であることが報告された。

企画委員会：（資料 c 報告_03(企)）

・揚水試験講習会の第 1 日目を開催し、参加者は 22 名であった。第 2 日目は 11 月中旬に日本大学で現場実習を実施する予定であることが報告された。

・地下水シミュレーション講習会を 11 月 20 日に現地・オンライン併用で開催予定であり、講習会参加費については収支改善を考慮して見直したことが報告された。

・論文解説セミナーについては、候補テーマに対する講師調整と準備期間を踏まえ、内容と開催時期を再検討することとした。

・Darcy Lecture は今年度の開催を見送る方針が示された。

行事委員会：（資料 c 報告_04(行)）

・秋季講演会について、発表 69 件（うち若手 30 件、English Session 11 件）、10 月 16 日時点の参加申込者数が 190 名を超えていることが報告された。

・2027 年度春季講演会は名古屋（名城大学）、2027 年度秋季講演会は沖縄県宮古島での開催に向けて準備を進めていることが報告された。

渉外委員会：（資料なし）

・セミナー「地下水のきほん」は、2027 年 1 月以降の開催を目標として内容や実施体制の調整を進めていることが報告された。

編集委員会：（資料 c 報告_06(編)-1～3）

・地下水学会誌第 68 巻 3 号の発刊、第 68 巻 4 号の編集状況および原稿処理状況が報告された。

・J-STAGE で 2029 年までに求められている XML 化（過去掲載分は対象外）への対応について、印刷・制作業者からの概算見積りが示された。増額分予算に対する今後の対応方針については、総務・会計委員会で一度検討することとした。その上で XML 化の導入時期、増加費用の負担方法、投稿規程への反映等について、編集委員会で検討した上で理事会に報告・協議することとした。

調査・研究委員会：（資料なし）

・秋季講演会における PFAS 調査・研究グループの特別セッション等について報告された。

市民コミュニケーション委員会：（資料なし）

・10 月 24 日に入間市にて湧水巡りを開催予定で、申込者が 14 名であることが報告された。

広報・IT 委員会：（資料 c 報告_09(広)）

・広報・IT 委員会の報告事項は提出資料による報告とした（委員長途中退席のため）。

YEPS 委員会：（資料 c 報告_10(YE)）

・秋季講演会における若手セミナーおよび若手懇親会の開催予定が報告された。

会計委員会：（資料 c 報告_11(会)-1,2）

・2026 年度中間決算の状況が報告され、引き続き適正な会計運営に努めることとした。

・10 月 8 日時点の収支状況が示された。前年同期に比べて収支は良好に推移しているものの、秋季講演会等の支出が今後発生するため、引き続き収支管理を行うこととした。

表彰委員会：（資料 c 報告_12(表)-1,2）

・学術賞・技術賞の推薦期限が 12 月 18 日であることが案内され、各理事に候補者の推薦が依頼された。

・次年度表彰に向けて、名誉会員・永年会員功労賞等は総務委員会、論文賞等は編集委員会、企業冠奨励賞は YEPS 委員会・行事委員会など、関係委員会に所定の準備が依頼された。

総務委員会：（資料 c 報告_13(総)-1）

・日本応用地質学会および石油技術協会の行事、JpGU 関連セッション、海岸地下水に関する国際会議（SWIM）等の後援・協賛依頼について報告された。

【監事講評】

・2027 年度予算の編成に当たっては、各委員会が事業内容・実施計画に基づいて必要経費を積算するようコメントがあった。

・各規程の見直しについて、どの委員会で取り扱うか施行細則に追記するようコメントがあった。

以上をもって議事を終了し、議長は閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名、押印する。

2026 年 10 月 20 日

公益社団法人日本地下水学会　理事会